



精 進



中間考査も終わり、早いもので2学期も後半にさしかかろうとしています。全員が一所懸命頑張り、感動の渦となった大運動会は、創立110周年記念に相応しく素晴らしいものでした。来週はよいよ「鹿工祭」です。クラスが一丸となり、学校全体として多くの人に披露する舞台です。一人ひとりが積極的に取り組み、素晴らしい「鹿工祭」にしましょう。今回は「ものづくり」の現場でよく目にする「5S」について考えてみましょう。必要性をきちんと理解して、常に心掛けてください。まずは鹿工祭の準備から意識して始めよう!

5Sとは、当たり前前のことを当たり前前に実行すること

項目	定義
整理	必要なものと不要なものを分け、不要なものは処分する
整頓	必要なものがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にし、「見せ方」を意識する
清掃	掃除をして、ゴミ、汚れのないキレイな状態にする同時に、細部まで点検することにより、気づける人になる
清潔	整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないキレイな状態を維持することにより、「見える化」を図る
しつけ	決められたことを、決められた以上に実行できるよう習慣づけ、他者ではなく、自分で自分自身をしつける

整理 5 Seiri
 整頓 5 Seiton
 清掃 5 Seisou
 清潔 S Seiketsu
 しつけ S Shitsuke



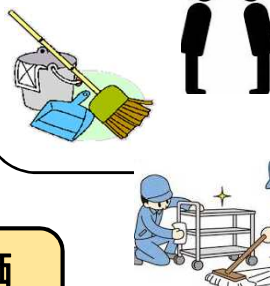
1 整理
 物のみならず、頭の中も整理し、何事も過剰にならないようにする。
 (教室、荷物、情報 etc.)



2 整頓
 置き場所、置き方を考え、すぐに取り出せると共に、「見せ方」も意識する。



3 清掃
 「気配り、目配り、思いやり」を養い、視野を広げる。「挨拶」「清掃」はチャンスをつかむ準備作業。



4 清潔
 やるべきことや、問題点が分かるように「見える化」を意識し、作業の効率化を図る。整理、整頓、清掃の維持。



自分自身の成長と価値の向上のために5S!

創立110周年記念鹿工

今まで学んできたことで、何を理解し、何が出来る

理解していること、できることをどう使うか

身に付けた知識や技術を発信する → アウトプット



鹿工祭は準備も含めて、人に感動を与える立場になって取り組む。技術者として働いている気持ちで、期待してくれている人のためにを念頭に「チーム学級」、しいは「チーム鹿工」の一員であることを意識して行動する。



5 しつけ

上記4Sができるように習慣づける。他者からではなく、自分で自分自身をしつける。「何故」にこだわり、先ず「考える」自分で掴んだものは、どんなときでも忘れない。

